

7月の相談日です。  
日々の生活の中で、誰かに相談したいと思っ  
たり疑問に感じていることはありませんか。  
そんなあなたからの声に応えるための各種無料相談窓口  
を紹介しします。  
秘密は厳守されますので、一人で解決しようとせず、ま  
ずは相談してみたいですか。



\*市民相談センターは、市役所棟原庁舎北側の就業改善センター2階にあります。

一般相談

日常生活の中での困りごとや悩み、  
分からないことなどの相談を受け  
付けます。困ったらまずは相談を。

期日 月曜日～金曜日  
時間 9:00～16:00  
会場 市民相談センター  
☎市民相談センター ☎0088

心配ごと相談

日常生活から起こる家庭問題や金  
銭貸借などの紛争解決。司法書士  
と民生委員が対応します。

期日 7月14日(木)・28日(木)  
時間 9:00～11:30  
会場 市民相談センター  
☎市民相談センター ☎0088

介護相談

介護に困っている人が安心して暮  
らせるように介護相談を行っています。  
介護保険の活用やサービスの  
利用など、介護に関することなら  
どんな内容でも受け付けます。  
相談内容に応じて専門の相談員が  
対応しますので、気軽に相談くだ  
さい。

会場 介護保険室(棟原庁舎)  
期日 7月12日(月)  
時間 9:00～12:00

会場 相良保健センター  
期日 7月26日(木)  
時間 9:00～12:00

☎介護保険室 ☎0076

消費生活相談

訪問販売や通信販売などの契約ト  
ラブル、振り込め詐欺、消費者金  
融・多重債務、クーリングオフの  
手続き、製品事故など消費生活に  
おける相談を専門の相談員が対応  
します。契約トラブルの解決のコ  
ツは、あきらめないことです。ま  
ずは相談してください。

会場 市民相談センター  
期日 月曜日～金曜日  
時間 9:00～16:00

会場 相良庁舎3階第1会議室  
期日 水曜日  
時間 9:00～12:00

☎市民相談センター ☎0088

行政相談

行政相談員が、行政に対する苦情  
や要望などの相談を受け付けます。

期日 7月7日(木)・21日(木)  
時間 10:00～12:00  
会場 市民相談センター

☎市民相談センター ☎0088

高齢者虐待予防相談

「高齢者に関する虐待かな」と思っ  
たときの相談です。事前に問い合  
わせをして、気軽に相談ください。

期日 7月16日(金)  
時間 13:30～16:00  
会場 相良保健センター

☎包括支援センターさがら ☎1900

法律相談(先着8人)

相続や遺産分割、離婚、多重債務  
や債務整理などの法律解釈や手続  
き、人権に関する相談などを無料  
で受け付けます。弁護士、行政相  
談員、人権擁護委員が1回30分  
で対応します。  
相談時には、参考となる書類など  
を持参してください。  
相談を受けるには、事前の予約が  
必要です。

期日 7月7日(木)・21日(木)  
時間 10:00～12:00  
13:00～15:00

会場 市民相談センター  
予約 当日予約のみ(電話可)  
受付 8:30～(予約)

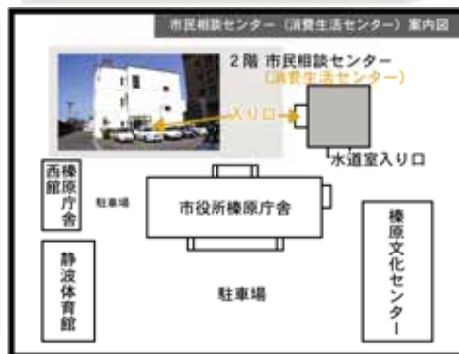
☎市民相談センター ☎0088

税の無料相談

税務・会計など税に関するあらゆる  
相談に無料で相談に応じます。  
事前に問い合わせください。

期日 7月21日(木)  
時間 13:30～15:30  
会場 市民相談センター

☎東海税理士会島田支部 ☎0547-6575



\*職員や来庁者など、他人に会うことなく入ることができます

榛原総合病院を知り地域で支えていくため、今号より病院の体制や診療科などを紹介していきます。

榛原総合病院は紹介状がなくても受診できます。  
また夕方診療や24時間体制で救急車の受け入れを行っています。

病院見学会・説明会を開催します

▶期日 6月26日(土)、7月17日(土) ▶時間 午前9時～正午 ▶申込方法 電話で申し込む ▶問い合わせ ☎1131

この地域の医療のために働いてくれる常勤医と研修医、看護師、助産師を募集中です。

今月は 看護部



看護部理念

私たちは、一人ひとりの生命と生活を大切に看護します

看護部目標

個人を尊重した看護を提供します

榛原総合病院の看護は患者参画型看護を目指しています

個人を尊重し、「その人らしさ」を支える看護を实践するため、看護師が固定チームを  
組み、一人の看護師が入院から退院まで継続して受け持つ体制を取っています。その  
看護師が不在時もメンバーで支援しています。またメンバー全員で患者のベッドサ  
イドに足を運び、心身の観察や患者の希望を何うウォーキングカンファレンス看護  
記録をベッドサイドで行い、患者や家族とのコミュニケーション手段としてスケ  
ジュール帳の活用▶逝去時の看護であるエンゼルメイクを实践しています。

榛原総合病院の看護は  
患者中心の看護  
その中の一つでもある「逝  
去時の看護」については、全  
国の病院でいち早く取り組ん  
だ看護です。  
患者が逝去したときに、遺  
族が「悲嘆(GRIEF)」と  
向き合い乗り越えていくこと  
を見守るグリーフケアの一つで  
す。家族と共に、いつもそ  
人らしくエンゼルメイク(死  
化粧)をして退院してもらい  
ます。  
「死体ではなく人として倫  
理感を高く持って看護してい  
きたいと考えます」と名波ま  
り子看護支援室長は語ります。  
「逝去時の看護」について全  
国から講演依頼が後を絶たない  
状況からも関心の高さがわか  
ります。  
このように患者中心の看護  
を实践する看護師たちです。  
しかし民営化に移行する過程  
において、約200人いた看  
護師が114人(ほかの病院  
からの応援を含む)と半減し  
てしまいました。  
徳洲会グループによって存  
続ができたこの病院を地域で  
守るためにも、一人でも多く  
の看護師、助産師が必要です。

この病院を愛し  
地域の医療を支えるため  
全力で励んでいます

西郷 美智子 看護部長



Saigo Michiko

島田市(金谷町)生まれ。昭和56  
年の結婚を機に、榛原総合病院へ  
助産師として勤務。取り上げた赤  
ちゃんは約3,000人にもなる。徳洲  
会グループに移行した3月から、  
看護師らを取りまとめる看護部長  
に就任。静波区在住。

「救急車が榛原総合病院を  
素通りして遠くの病院に行く  
のを見ていて、病気になるた  
ら困るなと思っていました。先  
に病気になるようになってしま  
った。でも今は、この病院に  
入院できて本当に良かった。お  
じいさんも毎日来ることができ  
てうれしい」  
ある高齢の患者の言葉です。  
わたしは時間の許す限り患  
者の元に足を運び、話を聞いて  
います。何よりも患者の気

持ちを大切に看護を目指  
しているからです。  
地域医療の崩壊の危機から  
救ってもらった徳洲会グル  
ープに移行し3カ月が過ぎまし  
た。この間に、24時間いつで  
も患者を受け入れられる体制  
が整ってきました。  
4月からは心臓センターが  
新設され、入院患者も増加し  
ており、地域医療が守られて  
きたことを実感しています。  
しかし、半年前に比べ看護  
師の人数は半減し、全国の徳  
洲会グループから支援を受け  
ています。移行時から大変な  
状況の中、共に支えあつてき  
たスタッフたちはこの病院を  
愛し、地域の人々の医療を支  
え、健康と生活を守りたいと  
全力で励んでいます。  
看護部長として、すべての  
職員に感謝するとともに、病  
院を大切に思い応援してくれ  
る地域の皆さんにさらなる支  
援と協力をお願いします。